

# 令和5年度事業計画書

東京商工リサーチによると、2022年の介護事業者年間倒産件数は143件（前年比76.5%増）と過去最多を記録した。その内、新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）拡大に伴う倒産は63件（前年比5.7倍）。感染防止の対策コストの増加や利用控え、在宅勤務の定着に伴う介護サービスの需要減などが原因としてあげられる。その上、元々の経営不振に加え、インフレによる光熱費や物価の高騰が重なり、倒産となる事例が上がっている。介護事業所・施設の全体数と比べれば、件数としては少ないように思えるが、水面下には「倒産予備軍」が膨大な数に上っていることが予想される。

当法人においても例外ではなく、令和4年度において新型コロナのクラスターへの対応による利用者及び職員負担増、感染対策備品に対する支出増、利用者の利用控え、他施設の感染状況により円滑な入所ができないといったことによる収入の減少があった。それに加え、光熱費の高騰、食材費の値上げといったサービス活動をする上での費用が増加することが予定されている。これらの費用増加が見込まれることから、新型コロナについては、適切な感染予防と発生時のBCPやマニュアルを活用した円滑な対応による利用者・職員の負担軽減を実施していく。各種料金の値上げについては、契約内容の見直しや仕入れ業者の選定、県や町の補助金の活用等による費用削減を実施し、安定した経営を目指す。

利用者の確保について、5月には新型コロナの5類への移行から、各病院・施設では感染対応が緩和される。これに伴い、施設サービスでは退所から入所間の空室に対し、迅速な対応を行っていくとともに、他病院や施設、居宅介護支援と連携を取り、新規申し込みを獲得し、柔軟な入所へ繋げていく。在宅サービスでは、大山町全域における利用者の新規獲得、適切なサービス提供をすると共に、利用控えしている方の利用を促すことにより重度化防止を図ることで、延べ人数を増加していくことを目指す。

## 1. 重点事項

- 1) 2024年の介護保険法改正に向けて、改正内容の把握や体制を整える
- 2) 柔軟な新型コロナの感染対応の実施
- 3) 労働環境の向上
  - ① ICTを活用した介護サービス
  - ② 介護ロボット導入の継続
  - ③ 職場環境の改善（業務内容の細分化）

## 2. 設備整備等

- 1) 移乗リフトの導入
- 2) センサーベッドの導入

### 3. 修繕

- 1) エレベータ 2 基の修繕
  - ・施設側
  - ・厨房側
- 2) 高圧設備修繕  
漏電箇所の修理と錆や劣化の補修 1,500 千円
- 3) 厨房系統排気ファン修繕  
ファンの老朽化による修繕 400 千円
- 4) 外壁塗装  
外壁の塗装と防水工事 金額未定

### 4. 事業内容

#### 大山やすらぎの里

- |           |    |     |
|-----------|----|-----|
| 特別養護老人ホーム | 定員 | 57名 |
| ショートステイ   | 定員 | 9名  |
| デイサービス    | 定員 | 45名 |

#### 居宅介護支援事業

地域支援事業 大山町受託事業、自主事業

#### 大山やすらぎの里めぐみ館

地域密着型特別養護老人ホーム 定員15名

#### 皆生やすらぎの里あおい

軽費老人ホーム A 型 定員 50名

### 5. 地域貢献について

- 1) 大山やすらぎの里めぐみ館の運営
- 2) 各地区公民館への出前出張講座
- 3) 現在ある運動器具の活用（地域開放）

### 6. 福利厚生への取り組み

- 1) 10年勤続者 対象者2名
- 2) 適正な有休消化

### 7. 職員の資質の向上及び処遇改善について

介護サービスの質の向上と職員の処遇改善を行う。

- 1) 施設外研修受講の推進
- 2) 専門職としての知識、技術向上を図るため資格取得の奨励
- 3) 受講したい講習と受講させたい講習のマッチングを行い「やる気」の向上
- 4) 研修計画を樹立し職員が万遍なく受講できるような配慮
- 5) 施設内研修の充実（月1回全体研修会開催）
- 6) 福祉専門学校履修 継続 1 名（介護福祉士資格取得）

- 7) 喀痰吸引等研修の実施
- 8) 重点的な研修
  - ①ユニットリーダー研修
  - ②鳥取県認知症実践者研修
  - ③ユニットケア全国実践者セミナー参加
  - ④老施協研究大会参加（県・中国）
  - ⑤認知症介護基礎研修
  - ⑥初任者・実務者研修
- 9) 介護ロボットの導入
- 10) ICTによる、記録の簡素化と情報共有
- 11) 適正な評価を実施し、それに対応した処遇改善

## 8. ボランティア活動の受入

社会資源の活用として、ボランティアを積極的に受け入れる。（新型コロナウイルスの感染状況による）

## 9. 経営の安定化を図る

- 1) 入所者数（短期を含む）：利用率95%以上
- 2) デイサービス：1日当たり実利用者35名以上  
中重度加算の再算定へ中重度利用者の増
- 3) 居宅介護支援：計画数の増加（介護予防含む）  
30件/人 居宅介護支援計画  
10件/人 介護予防居宅介護支援計画
- 4) 軽費老人ホーム：利用率90%以上

## 10. 地域住民の健康増進及び大山町まちづくりへの協力

大山町受託事業、自主事業（健康クラブ）を通じて、利用者の増加を図る。

- 1) 「ふれあいの郷かあらやま」・地域（末吉・鈿戸、佐摩・中高・平木、坊領）の公民館等への出前教室
- 2) 交流センターにおいて近隣住民の健康体操の実施
- 3) 業者と連携した在宅介護機器の体験会や介護に関する相談会の実施

## 11. 各種委員会について

- 1) 運営会議
- 2) ユニットリーダー会議
- 3) ユニット会議・デイサービス会議
- 4) 行事实行委員会
- 5) 研修委員会
- 6) 安全衛生委員会
- 7) 広報委員会

- 8) 苦情検討委員会
- 9) 入所選考委員会

## 1 2. 地域、ボランティア、交流について

- 1) 家族会の活動支援
- 2) 夏祭り、文化祭等を開催し地域との交流を図る。
- 3) ボランティア受入の充実
- 4) 大山西小学校、大山小学校、大山きゃらぼく保育園、大山保育所との交流
- 5) 出前出張講座の実施
- 6) 青パトの実施 ※あおい

## 1 3. 社会福祉法人の情報公開と自己評価について

- 1) 経営情報の公開を行う
- 2) 自己評価を行う

## 1 4. その他

- 1) 広報紙「やすらぎサルビア便」の発行（毎月）
- 2) 広報紙「めぐみ館通信」の発行（隔月）
- 3) 広報紙「浜辺」の発行（毎月）※あおい
- 4) ホームページの充実 (<https://keiaikai-daisen.com/>)

## 令和5年度目標

### 【さざんか・きゃらぼく】

#### ◆運営目標

法人理念に沿い「まごころ」あるケアを目指し入所者の笑顔を引き出す

#### ◆重点目標

1. 暮らしが安心して継続していけるユニット環境を作る
2. 相手の立場に立って思いに寄り添い対応をする
3. 日々の変化に気づき職員間で情報共有していく

### 【すみれ・ふきのとう】

#### ◆運営目標

心の通い合う介護を目指し、安心できる生活を支援する

#### ◆重点目標

1. 「報・連・相」を密にし、他職種との連携を図る
2. 「目配り・気配り・心配り」のできる人間作り
3. 個々に合った関わりを大切にし、思いに寄り添う

### 【しらかば・もみじ】

#### ◆運営目標

ご利用者にとって心地よい空間づくりに努める

#### ◆重点目標

1. 各職員が危険リスクの把握をし、ご利用者の生活上の事故を軽減する
2. 環境整備の強化
3. ご利用者の個別性に合わせた適切なコミュニケーションを心掛ける

### 【ユニット医務】

#### ◆運営目標

利用者様の安心安全な日常生活を維持できる支援の実施

#### ◆重点目標

1. スタンダードプリコーションの徹底、感染予防対策を継続する
2. 利用者様の情報を看護間で共有し、継続的な健康管理を行う
3. 多職種連携の一員として、医療面の情報提供、必要時は指導、医師との連携を行う
4. 常に自己研鑽を行う

### 【ユニットの相談業務】

#### ◆運営目標

1. 入所申込者の拡大（各老人保健施設・居宅支援事業所・病院へ案内）
2. 退所後のスムーズな入所対応（7日間以内に）

3. ショートステイ利用者の受け入れ拡大（97%目標達成）
4. 家族会の開催（新型コロナ 5 類変更後）
5. ボランティアへの行事等の企画
6. オレンジカフェの再開

#### 【栄養管理】

##### ◆運営目標

食事を通し、ご利用者様一人一人がその人のらしく、日常を楽しく、穏やかに過ごせるように支援する

##### ◆重点目標

1. やすらぎ喫茶の定期的開催
2. 変化のある献立作成・行事食の開催  
（郷土料理の提供や旬の食材を使った料理の提供
3. ご利用者の状態にあった食事提供ができるよう、多職種と連携  
（日々の食事観察。体調不良時、迅速に対応する）

#### 【デイサービス】

##### ◆運営目標

やるべきことを考え、すべきことをする  
来所頂く全ての方に技術を提供する。

##### ◆重点目標

1. ご利用者の自宅生活が継続できるよう自立支援・機能訓練を行う
2. ご利用者の方々の可能な機能を最大限に活用し、維持・向上を図る

#### 【ケアプランセンター】

##### ◆運営目標

- ・町内に安心して暮らせるように、質の高いサービス提供を心掛ける
- ・専門性の研鑽に励み、地域や法人の発展に努める

##### ◆重点目標

- ・常に先を見据え、笑顔で支援に取り込み、信頼される事業所となる
- ・データ連携システム等、情報を熟知し検討、判断を行いつつ、効率化に励む
- ・働きやすい環境を整え、健康管理に努めて業務を行う
- ・介護保険サービス、保険外サービス、その他制度を活用しながら、適切なサービス提供に努める
- ・困難事例に対しても避けることなく受け入れ、事業所内や多職種協働で、望まれる生活ができるよう支援を行う。対応できる力を身につける
- ・地域に出掛け、支援ネットワーク作りを進めていく
- ・相談者に対して、誠心誠意対応し、信頼される介護支援専門員になれるように努める

## 【大山やすらぎの里めぐみ館】

### ◆運営目標

1. ご利用者が楽しみを持って暮らしていける環境を整える
2. 職員が働きやすい環境を整える

### ◆重点目標

1. 科学的根拠に基づいたケアの実践
  - ①サービス計画書に基づいたケアを実践していく  
(サービス計画書の中には、興味・関心がある項目を入れるようにする)
  - ②PDCA サイクルの推進、支援の質の向上を図る
2. 職場環境を整える
  - ①各職員の仕事量が均一化する仕組みの構築
  - ②希望した休暇取得に努める
  - ③誰もが自由に提案できる環境をつくる

## 【機能訓練室】

### ○機能訓練

#### ◆運営目標

入所者様の「自分らしい生活の獲得」が出来るよう動作能力に応じた自律（自立）支援を行います

#### ◆重点目標

- ・入所者様、職員、双方にとって快適な介護ができるよう、介護手技の向上を図ります。
- ・生活の質の維持が図れる様、入所者様がしたいこと、できることを見つけ、生活リハビリとして多職種連携を行います
- ・福祉用具を積極的に導入し、質の高いケアを提供します

### ○口腔

#### ◆運営目標

ご利用者様が食べることで日常生活が楽しくなるよう支援する

#### ◆重点目標

- ・ご利用者様の口腔内環境を整え、食べるのが楽しみにつながるような関わりを持つ
- ・職員の口腔ケアの手技が向上するように指導を行う。

### ○元気アップ・健康クラブ

#### ◆運営目標

交流の場として多くの方に利用して頂く

#### ◆重点目標

- ・ご利用者のニーズに沿い、満足して頂ける指導を行うこと
- ・運動の大切さを知って頂き、継続して利用して頂くこと
- ・イベント等を企画し、多くの方に興味を持っていただくこと

## 【皆生やすらぎの里あおい】

### ◆運営目標

- ・コロナ感染症対策を状況により、政府の方針も鑑みて引き続き継続する
- ・利用者様の日々和める嬉しい、楽しい、明日も頑張ろうと思える日常を支援していく。
- ・地域社会の中で福祉の発信源となるよう貢献していく

### ◆重点目標

- ①入所者様とのコミュニケーションを大切にし、笑顔を引き出す環境作り
- ②小さな変化に気づく「観察眼」を磨き、多職種連携を密にし、不安のない生活を支援する。
- ③入所者様の健康管理、安心安全な生活を送れるよう、緊急時の対応等、多職種連携で、平時からのコミュニケーション、情報の共有を密にする。
- ④入所者様とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築、生活状況を把握し、適切な介護サービス等の利用、またスムーズな住み替えが行えるように対応する
- ⑤行事等、十分に行えていない現状ではあるが、入所者様からのアンケート等、可能な限り反映させ今後の行事食、イベントの企画を行う